

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 18日

事業所名 放課後等デイサービスぼちぼち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	2	室内で遊ぶ空間が狭い 庭、車を合わせると適切 10名利用時は手狭だが屋外活動などで適切化	定員は10名であるが、一般住宅賃貸物件でスペース拡張のためには、移転が必要のため、今後も屋外・外部施設の活用で工夫する
	2	職員の配置数は適切である	5	3	1	長期休みの午前中に手が足りない時がある その日により適切でない時間帯がある 退職者がいるので職員が増えると良い	学校休業日や送迎が重なる時期、時間帯に応じたこまめな職員体制の調整と、非常勤職員の募集をはかる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1		8	玄関が狭い 借家のため改修が困難 現設備で改修が必要な利用者はいない 配慮がない箇所はあるができる処置はしてある	一般住宅賃貸物件のため、抜本的解決のためには、将来的には移転等を検討していく
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	3	3		現在も開催している職員会議、ケース会議等でのPDCAサイクルの継続と、情報共有を強める
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4	1	同法人ではあるが年に1回監査を実施	同一組織ではあるが、県内にある就労B事業所の職員等からの参加を図る
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9				
適切 な 支 援 の 提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成	9				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			長期休暇中は利用料を臨時徴収してもよいのでは	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			集団活動(遊び)の時間が増える計画があると良い	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1			